

IMAIZUMI TENT

月にテントを張れるように。

1968年、トラックの幌、軒先のオーニングなど、日差しや雨風を防ぐ補助的な資材としてテントを供給し始めたのが私たちの始まりでした。もっともっと、テント生地は大きな屋根や外壁となって空間を自在につくることができる。テントのはかりしれないポテンシャルに気づいた私たちは技術開発に挑み、大型の膜構造建築を実現。以来、様々な倉庫、公共施設、発電、社会インフラ、地方創生、アートなど、社会の様々な用途で活用いただくようになりました。これからの未来はどんなテントの力を必要とするだろう。宇宙の時代には月にテントを張れるかもしれない。夢を膨らませ、お客様とともに、今泉の挑戦を続けていきます。



膨らむテントの可能性。

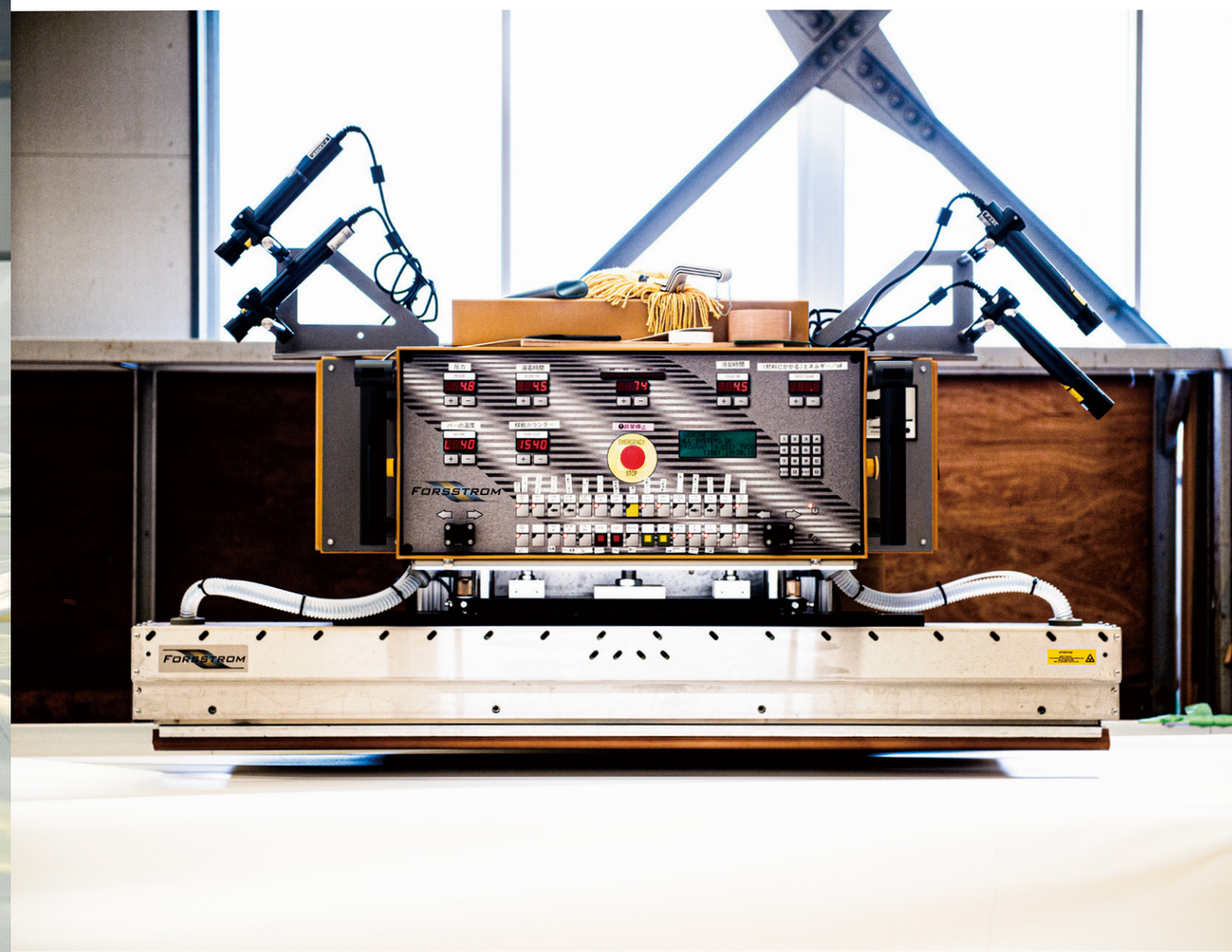
小さなものから大きなものまで、必要に合わせてサイズが自在に変えられることが膜構造建築物の特長です。それを支えるのが膜材を繋ぎ合わせる溶着技術です。今泉テントは分子レベルでの振動、発熱を起こして膜材を融合・溶着する高周波溶着技術で、高い溶着品質を実現。美しく、繋ぎ目からの劣化が少ない屋根や外壁を形にしています。その技術を活かし、近年ではバイオマス発電設備でメタンガスを貯めるガスバッグの製造も手がけています。私たちのテント生地が、50mmAqの内圧に耐える円筒形の大型ガスバッグとなって、全国各地のバイオマス発電所で発電を支えています。





高周波溶着機。スウェーデン製。

今泉テントの高い溶着品質の理由の一つが、分子レベルでの振動、発熱を起こして膜材を融合・溶着する高周波溶着技術です。日本国内では珍しいスウェーデン製の大型溶着機を使い、1.2メートルの長い金型で生地の溶着したい箇所を挟んで溶着。わずか数秒で高い溶着強度を誇ります。





超巨大空間テント。
NETIS登録。

老朽化で解体することになった東京・練馬の光が丘清掃工場。しかし、周辺が住宅地であるため、解体工事は工場全体を超大型のテントで覆って行うことに。このプロジェクトに参画していたのが今泉テントです。2018年、長さ150メートル・幅77.3メートル・高さ45.9メートル、体積は43万立方メートルにもなる超巨大テントですっぽりと工場を覆い、テント内は集塵機によって負圧状態にして、解体工事がスタート。周辺環境への影響を最小限にとどめる建物の解体を実現し、それとともにテントも解体されました。仮設テントによる超巨大空間の確保を実現したアトモス（ATMOS）工法は、国土交通省の新技術情報提供システムNETISにも登録されました。

ここが骨組の倉庫。

必要なときに必要な大きさで速やかに設置でき、役割を終えれば速やかに解体できる。巨大な解体工事用テントを支えるフレームユニットは、メンテナンスをしながら繰り返し使うことができ、廃材にならないのが特徴。倉庫の中で次の活躍に備えます。資源、コスト、時間の無駄をなくす仮設テントは、まだまだ多様な用途への可能性を秘めています。

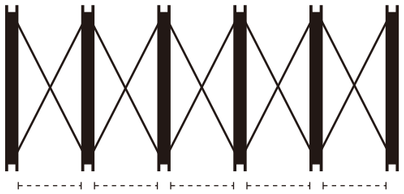




豪雪地帯、長岡生まれ。

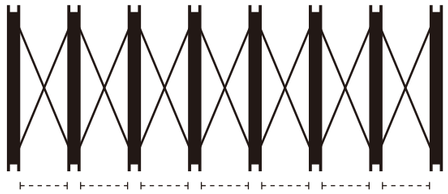
積雪量が多く、しかも湿気を含んだ重い雪が降る新潟県。なかでも豪雪地帯として知られる長岡で生まれ育った今泉テントは、積雪のある地域にも強靭な構造で多くの実績を残してきました。強さが必要なら、強くつくればいい。雪国で膜構造建築物は難しいのではないかという思い込みは、私たちには全くありませんでした。

一般的な鉄骨ピッチ



2m

雪国仕様の鉄骨ピッチ



1.5m



ドカ雪にも、地震の揺れにも。

最大震度7を記録した新潟県中越地震クラスの地震が来ても潰れないこと。1メートルの積雪がある状態だとしても。新潟県の条例で定められている構造設計の基準に、私たちのテント倉庫も対応しています。豪雪の年を何度も乗り越えてきた事実が、私たちの自信になりました。また、膜の軽さや伸縮性は地震の影響も受けにくく、地震対策としてもテント倉庫は見直されています。





感染症対策にテントの力。

必要なときに素早い導入ができ、高い利便性と安全性があるテント。そのメリットは命を支える医療現場にも活用いただいています。2020年7月、今泉テントはドライブスルー型のPCR検査用テントを開発し、新型コロナウイルス感染症対策に取り組む長岡市と新潟市で一号機が稼働を開始しました。もともとは別のイベント用に開発していたテントでしたが、建築家とイベント関係者の快諾を受け、速やかにPCR検査用テントへの転用・使用を実現させることができました。

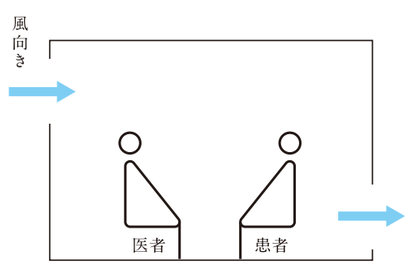






空気の流れを制御する

PCR検査用テントは医療機関からの要望に応えて改良を重ねています。窓や換気扇、排気口などの位置の調整によって空気の流れを制御し、排気口にはHEPAフィルターを装着するなど、安全な検査に必要な設備をセットして納入しています。





日本初。
テント生地の屋根の家。

長岡市に、日本で初めてテント生地を利用した膜構造屋根の家ができました。設計は国立競技場やアオーレ長岡を設計した隈研吾氏。膜材には、今泉テントが開発に参画した、ガラス繊維とフッ素コーティングで強度を高めた膜材「TG3000SSB」が採用されました。鋭い傾斜により冬の積雪にも備え、また、膜材の光線透過性により外の光が感じられる明るい住空間が実現しています。



テントは心を豊かにすることもできる。

自然との一体感を感じながら、家族や仲間と食事や語らいを愉しむ。各地で今、広がりを見せるグランピング施設やバーベキューラウンジでも、私たちのテントが活躍しています。雨風や強い日差しを遮りながら、オープンエアの気持ち良さを感じられるのはテントならでは。曲面を活かすデザイン性に富んだ造形も可能です。地方創生の企画段階から私たちも参画し、土地の魅力を引き出すアイデアをご提案しています。





つながりをデザイン。

人をつなぐ「＆」のようなものづくりを目指してスタートしたのが「10＆（テン・アンド）」事業です。飛ばないテント「M-BOX」は六本木のデザインイベント、日比谷公園でのイベントなどで、様々なアート体験や憩いの空間を形づくりました。また、テントに使用する膜材でつくったエコフレンドリーなバッグをデザイナーとともに開発。雨や汚れにも強く、発売以来、好評をいただいています。

10＆







広がる世界。

人と人、人とアートの出会いの場になったり、生活をともにするアイテムとなったり。「10&」事業でダイレクトにコンシューマーともつながるようになったことは、私たちの視界をさらに広げました。様々なパートナー企業やクリエイターと連携し、空間だけでなく豊かな時間をつくり出そうとする多くのプロジェクトが始動。ものづくりの確かな力をベースとしながら、時代が求める新しい事業開発、サービス開発へ、今泉テントは歩み始めています。

これからも夢に挑むテント。

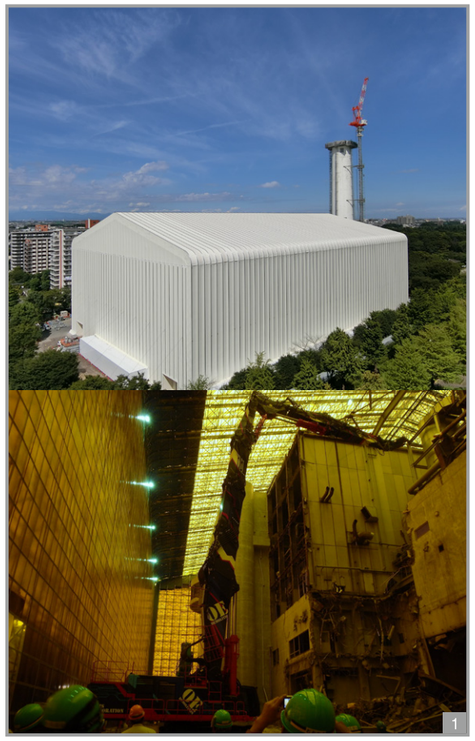
1968年、新潟県長岡市で仮設テント、トラックの幌、軒先のオーニングなど、日差しや雨風を防ぐ補助的な資材としてテントを供給し始めたのが私たちの始まりです。1970年、大阪万博が開催され、膜構造を用いた巨大なパビリオン建築を目にしたことが私たちを変えます。テント生地は、大きな屋根や外壁となって、大規模な空間を自在につくることができる。テントのはかりしれないポテンシャルに気づいた私たちは、以来、経済性、施工性、デザイン性にも優れた多彩な膜構造建築物をお客様とともに形にしてきました。
これからも持続可能な社会への貢献を追求するとともに、革新的な挑戦を続け、新たな価値の創造を目指してまいります。

事業内容

- 膜構造建築物の設計、製作、施工、管理
- テント倉庫の設計、製作、施工、管理
- 大型テント倉庫リース
- バイオガスタンクテントの設計、製作、施工
- デザインテントの
  デザイン提案、設計、製作、施工

  グランピングテントやバーベキューテントのご提案や、
  イベント、店舗向けのテントのご提案を致します。
- 遊休地へのデザイン提案、設計、製作、施工

  ランドスケープイメージのご提案から、
  お客様の御要望に合わせてご提案致します。
- イベント企画、運営、管理
- 施設、マンション向け駐輪場の
  設計、製作、施工









1. 光が丘清掃工場建替工事に伴う工場棟全覆い仮設テント設置工事
   施工面積／工場棟：W77.15m×L117.12m×H32m／煙突棟：W52.03m
   ×L34.77m×H31m／前室：W8.9m×L20m×H7m
   施工場所／東京都練馬区

2. 上越マテリアル株式会社 新工場 シュレッダー棟
   施工面積／6,000㎡（W50.00m×L120.00m）
   施工場所／新潟県上越市

3. 長岡市新一般廃棄物最終処分所
   施工面積／2,836.89 ㎡
   施工場所／新潟県長岡市

4. 株式会社安全講習センター 講習棟
   施工面積／1217.16㎡（W15.12m×L78m× 下屋2.5m）
   施工場所／新潟県長岡市

工場施設


1


2


3


4


5

1. 株式会社冨山テント倉庫
施工面積／1418.4㎡
施工場所／新潟県新潟市

2. 日立グローバルライフソリューションズ株式会社テント倉庫
施工面積／450㎡
施工場所／栃木県栃木市

3. 富岡町対策地域内廃棄物処理業務
施工面積／14,875㎡（W85m×L175m）
施工場所／福島県富岡町

4. Jマテカッパープロダクツ株式会社銅素形材倉庫
施工面積／A棟：2,592.00㎡（W20m×L129.60m）
B棟：2,980.80㎡（W23m×L129.60m）
施工場所／新潟県上越市

5. 株式会社アシストペレット製造工場新築工事 工場棟
施工面積／453.6㎡
施工場所／北海道別海町

公共施設


1


2


3


4


5

1. 長岡市民防災公園 全天候型公園施設 トップライト
施工面積／67.00㎡（9mφ）
施工場所／新潟県長岡市

2. 上野さくら浄苑
施工面積／12.92㎡（W3.4m×L3.8m）
施工場所／東京都台東区
デザイン監修／一級建築士事務所 HAFFEN

3. 新潟市江南区横腰中央公園 屋根付き広場
施工面積／187.00㎡（15mφ×H2.5m）
施工場所／新潟県新潟市

4. 長岡市ふそき公園
施工面積／1015.20㎡（W23.5m×L43.2m）
施工場所／新潟県長岡市

5. 誓いの丘公園改修工事（膜屋根工事）
施工場所／静岡県小山市
設計監理／隈研吾建築都市設計事務所

スポーツ施設



1



2



3



4

1. エスアールジータカミヤスポーツパークあすと長町
施工面積／フットサルコート：1,798.860㎡, テニスコート：1,632.150 ㎡, バスケットコート：861.948㎡
施工場所／宮城県仙台市

2. メガステージ須賀川 フットサルコート
施工面積／ 1,447.80㎡（W38.10m × L38m）
施工場所／福島県須賀川市

3. ホワイトウェーブ フットサルコート
施工面積／ 1,386㎡（W22m × L63m）
施工場所／新潟県上越市

4. 地方競馬教養センター　テントドーム型覆馬場
施工面積 ／ 2,465.5㎡（W37.12m × L66.42m）
施工場所 ／ 栃木県那須塩原市

レジャー施設



1



2

3

4



5

1. 合歓の郷 ラウンジテント
施工面積／ 182.25㎡（W13.5m × L13.5m）
施工場所／三重県志摩市

2. シェラトン沖縄サンマリーナリゾートチャペル膜屋根工事
施工場所／沖縄県恩納村

3. ザ・リトリート グランピングテント宿泊棟
施工面積 ／ 1棟：35.91㎡
施工場所 ／ 福岡県飯塚市

4. 河原湯温泉駅前 BBQ場
施工場所／群馬県吾妻郡

5. 上越水族館膜天井工事
施工場所／新潟県上越市











1. 竹のバヴィリオンインポジウム風景

2. 灯り織 - 伝統工

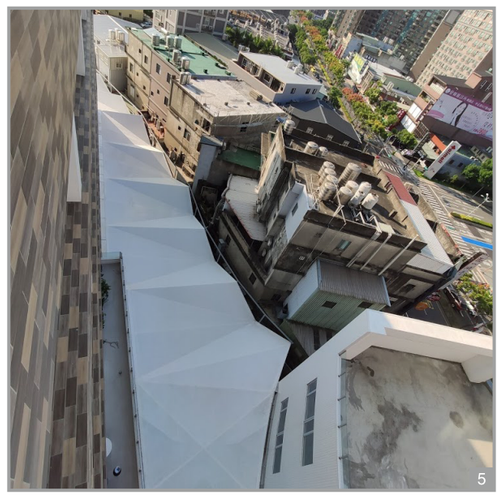
3. arteat 音楽カフェ











1. 花蓮慈濟靜思精舍開閉式膜構造(開)
施工場所／花蓮市, 台湾

2. 台北市景美運動公園
施工場所／台北市, 台湾

3. 台北市南港區東明公園舞台
施工場所／台北市, 台湾

4. 新北市捷運バス停
施工場所／新北市 , 台湾

5. 桃園市南崁Lexus營業所
施工場所／桃園市, 台湾

会社概要

社名
今泉テント株式会社

資本金
3,000万円

代表者
代表取締役　今泉知久

住所
新潟県長岡市滝谷町 1917-5
TEL 0258-22-0088
FAX 0258-22-0083

営業所

関東事務所
埼玉県さいたま市浦和区仲町 2-17-7
TEL 048-799-3353

許認可及び加入団体

・一級建築士事務所
新潟県知事登録（ホ）第 4008 号
埼玉県知事登録（1）第 11938 号

・建設業許可
国土交通大臣（特－3）第 24298 号
国土交通大臣（般－3）第 24298 号

・(社)日本膜構造協会
一種正会員
膜体加工工場Mグレード認定

・日本テントシート工業組合連合会